

令和2年産

気仙沼・南三陸 稲作情報 第5号

令和2年6月23日発行

宮城県米づくり推進気仙沼地方本部・宮城県気仙沼農業改良普及センター

TEL 0226-25-8069 FAX 0226-22-1606

今後の管理のポイント

- ・ 稲体の健全化を図るため、間断かん水を実施しましょう。なお、有効茎が確保されたほ場では、中干しを実施しましょう。
- ・ 雑草の発生が多い場合は、中・後期剤による除草を行いましょう。

1 気象の概況

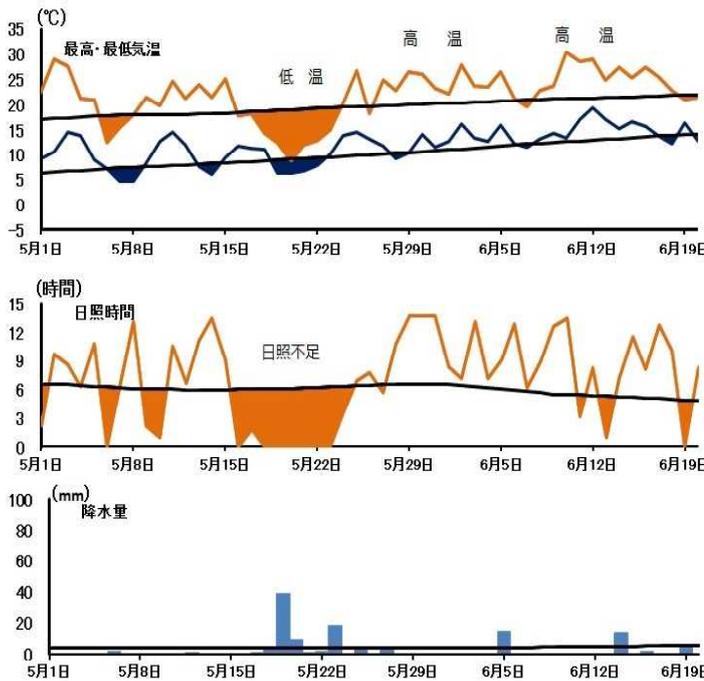


表1 気象経過 (気仙沼アメダス)

	平均気温(°C)		日照時間(h)		降水量(mm)	
	本年値	平年差	本年値	平年比	本年値	平年比
5月 上旬	14.8	2.4	60.2	94%	1.5	4%
5月 中旬	14.0	0.9	52.7	91%	53.0	130%
5月 下旬	15.7	1.2	76.0	109%	29.0	64%
6月 上旬	18.5	2.5	98.8	161%	14.5	37%
6月 中旬	20.0	2.9	69.9	130%	20.5	39%

【5月】

- ・ 月平均気温はかなり高い (田植盛期後の5月20日前後は低温)
- ・ 月降水量は概ね平年並から少ないが、一部でかなり多い
- ・ 月間日照時間は概ね平年並

【6月上旬】

- ・ 旬平均気温はかなり高い
- ・ 旬降水量は概ねかなり少ない
- ・ 旬間日照時間はかなり多い

【6月中旬】

- ・ 旬平均気温は概ねかなり高い
- ・ 旬降水量は概ね少ない
- ・ 旬間日照時間は多い

図1 気象経過図 (気仙沼アメダス: 5月1日~6月20日)

2 水稻生育調査ほの生育概況

表2 水稻生育調査結果 (6月20日調査)

品 種 地区名		田植日	栽植密度 (株/㎡)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色値 (GM)
ひとめぼれ 気仙沼市 (本吉町)	本 年	5/14	20.4	38.1	648.7	8.5	44.0
	前年比・差		±0	104%	124%	-0.1	+3.6
	平年比・差		±0	107%	128%	+0.4	+3.3
ひとめぼれ 南三陸町 (志津川)	本 年	5/12	18.6	41.7	424.1	8.4	40.0
	前年比・差		+6	104%	115%	-0.1	-2.7
	平年比・差						
県平均値	本 年			37.4	413	8.6	42.4
	平年比・差			108%	103%	+0.2	+0.3

注1) 平年値は平成27年から令和元年までの5か年の平均値。

注2) 志津川ひとめぼれは平成30年度から調査開始のため平年値はなし。

注3) 県平均値は、県内31地点の生育調査ほ(品種:ひとめぼれ, ササニシキ)の平均値。

- ・県内の生育調査ほにおいては、6月10日以降平均気温が平年を上回る日が続き、生育は平年並みに回復しています。
- ・管内の生育調査ほにおいては、「本吉ひとめぼれ」及び「志津川ひとめぼれ」とともに、葉数は前年並ですが、莖数は前年を上回っており、生育は順調に進んでいます。

3 今後の管理の留意点

【水管理】

- ・稲体の健全化を図るため、湛水と落水を繰り返す間断かん水を行いましょ。
- ・水温の上昇に伴い土壌中の有機物の分解が進み、土壌からガスが発生する場合があります。ガスの発生が多いと根に障害が発生し、養分吸収を阻害するため、一時的な落水や間断かん水を行い、土壌中に酸素を供給しましょ。
- ・中耕を雑草防除時期に実施する場合は、除草剤散布の3日前あるいは10日後（抑草期間の長い初期剤を使用した場合は20日以上あと）に行い、除草効果を損なわないようにしましょ。

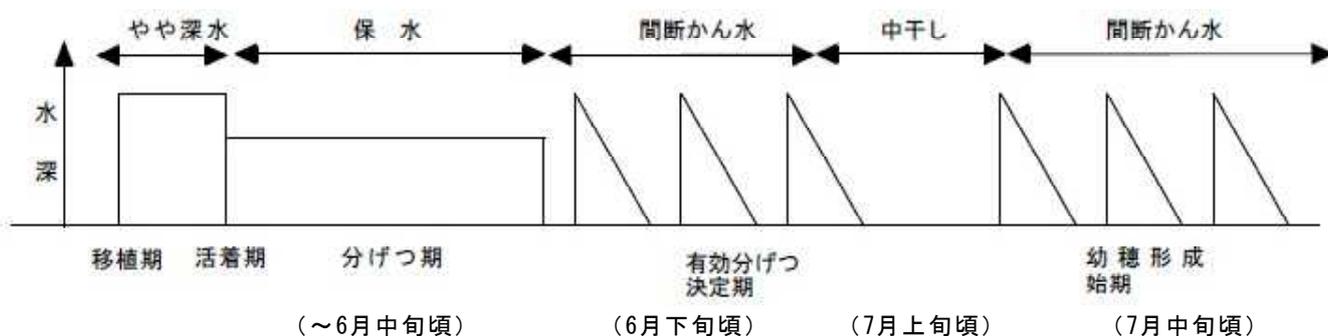


図2 水田水管理体系

【中干し】

- ・中干しは、根の活力の向上、無効分けつの発生抑制、作土層の硬化促進などの効果があります。有効莖数（表3）を確保したら、早めに行いませ。
- ・中干しは、「田面に小さな亀裂が入り、軽く足跡がつく」程度としま。

表3 品種別有効莖確保期の目安

(県栽培ごよみより)

品種名	時期	㎡当たり 莖数(本)	田植時の設定株数	
			50株/坪(15.2株/㎡) の場合 1株当たり本数	60株/坪(18.2株/㎡) の場合 1株当たり本数
ひとめぼれ	6月20日頃	310~360	20~24	17~20
ササニシキ	6月25日頃	460~500	30~33	25~27
まなむすめ	6月20日頃	460~500	30~33	25~27
みやこがねもち	6月30日頃	380~430	25~28	22~24

【雑草防除】

- ・初中期一発剤を散布したほ場でも残草があれば、雑草の種類や葉齡、稲の葉齡を確認し、中・後期剤等で適切に防除しま。
- ・ヒエやイヌホタルイ等の雑草は、稲の出穂前に斑点米カメムシ類を水田に呼び寄せませ。またシズイにもアカスジカスミカメが寄生・産卵しま。雑草対策を徹底しま。
- ・畦畔や農道、雑草地、休耕田等のイネ科雑草は、カメムシ類の主な増殖源となるので、計画的な草刈りを行い、カメムシ類の増殖を抑えませ。

【病害虫防除】

①いもち病

- 補植用の残苗は、本田でのいもち病の発生源となります。また、残苗がほ場にある場合は、早急に処分しましょう。
- 箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、水面施用剤を防除適期に散布しましょう。
- 箱施用剤等による予防防除を実施した場合でも、発病が見られたときは、速やかに茎葉散布剤で防除してください。
- 葉いもちは、直接収量や品質に影響を及ぼす穂いもちの伝染源となります。病徴が進展してからの防除では十分な効果が期待できないため、水田をこまめに見回り、早期発見・早期防除に努めましょう。
- 最新の葉いもち感染好適条件の出現状況は、県病害虫防除所ホームページで確認できます。<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>

②イネドロオウムシ

- 6月の気象が曇雨天で経過すると成虫の産卵期間が長引き、幼虫の加害期間も長くなります。今後の気象経過に注意し、発生が長引く場合は追加防除を実施しましょう。
- 殺虫剤を育苗箱処理した水田でイネドロオウムシの発生が多い場合は、薬剤抵抗性が発達している可能性がありますので、普及センター等にご相談ください。

○だて正夢の栽培管理

表4 だて正夢現地栽培技術普及展示の生育調査結果（6月20日調査）

品 種 地区名		田植日	栽植密度 (株/㎡)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色値 (GM)
だて正夢 気仙沼市 (本吉町)	本 年 前年比・差	5/13 ±0	20.8 107%	43.9 121%	347.4 97%	8.0 +0.4	46.3 +3.2
だて正夢 県平均値	本 年 前年比・差			42.3 105%	362 83%	8.4 -0.2	43.8 -0.1

注1) だて正夢は平成29年から調査開始のため、平年値はなし

注2) 県平均値は、県内9普及センター+古川農業試験場の平均値

- 「だて正夢」は「ひとめぼれ」よりも茎数の増加が緩やかで、葉色がかなり濃く維持される特徴があります（図3）。
- 目標茎数：350～400本/㎡を確保したら中干しを行いましょう。

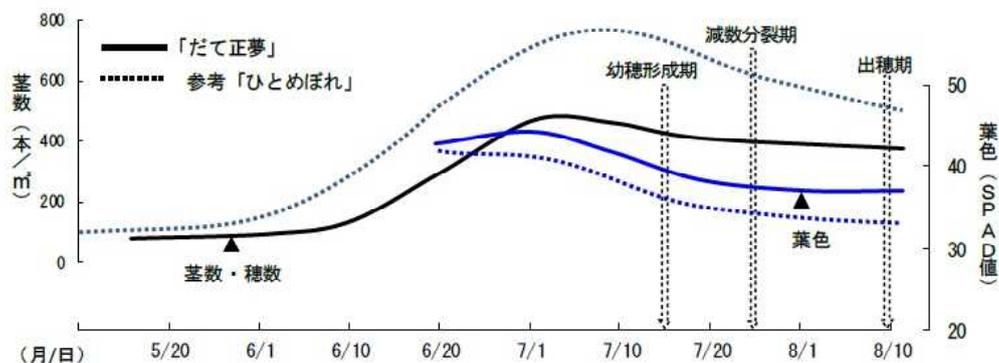


図3 「だて正夢」生育のイメージ

注) 平成28～30年栽培試験にて適正な籾数・収量・品質を得た試験区の生育をもとに作図

1か月の天候の見通し 東北地方（6月20日～7月19日）

（6月18日 仙台管区气象台発表）

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われるため、向こう1か月の気温は高い見込みです。
- 期間のはじめは、前線や湿った空気の影響を受けにくく、日照時間は平年並みから多いでしょう。

・・・・春の農作業安全確認運動実施中（4月1日～6月30日）・・・・
重点推進テーマ 「見直そう！農業機械作業の安全対策」

・・・・農薬危害防止運動実施中（6月1日～8月31日）・・・・

農薬を使用する前には、必ず使用可能な作物名等ラベルなどで確認し、使用時期、使用方法、使用量を守って適正に使用しましょう。

※最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターのホームページで確認できます。
HP<<http://www.acis.famic.go.jp/searchiF/vtll001.html>>